パンフレット作成、論文・レポート作成

１　読み手が誰なのか？を考える

・　看護記録（あるいは診療録）
・　患者に対するパンフレット

看護記録は、主な読みては医師や看護師など医療従事者。
そのため、医学・看護学用語を用いて明確に情報を記述する。

一方、患者に対するパンフレットの場合は、専門用語を多用すると患者は理解できないので、一般用語を用いて患者が理解できるように説明する事が求められる。

レポートや論文の書き方

１　レポートや論文では「**である調**」を用いる。
　　レポートや論文は「ですます調」を用いないで「である調」で書く事が原則。

２　**体言どめは使わない**
　　体言とは名詞や代名詞のこと。
　　体言どめとは、文末が名詞で終わる文章のかたちのこと。

　　例）
　　「医師と患者のコミュニケーションが良好であるほど、満足度は高値。また、アクセスしづらい立地条件に病院があるほど満足度は低値。入院費用と満足度は無関係。」
　　↓
　　「医師と患者のコミュニケーションが良好であるほど、満足度は高値であった。また、アクセスしづらい立地条件に病院があるほど満足度は低値となった。しかしながら、入院費用と満足度は無関係であった。」

３　**口語表現は使わない**
　　口語とは話し言葉で、会話で用いられる語のこと。
　　口語表現を論文やレポートの文中に入れると、読み手に対して不適切と思われるので、表現に注意する。

　　例）
　　「職員の意識を向上させて<u>いかなきゃ</u>ならない。」
　　「その関係性については十分には<u>わかんない</u>と考えられる。」

小論文の型

1　序論
2　本論
3　結論

研究レポート・論文の型

1　タイトル
2　はじめに・諸言
3　方法
4　結論
5　結果
6　考察
7　結論
8　文献リスト・引用文献